

氏名	石井 努	所属	生物応用化学科	職位	教授
----	------	----	---------	----	----

職務	項目例	割合【%】		活動内容
		計画	実績	
教育	授業担当 卒業研究 専攻科研究 授業改善 教材開発 教科書執筆 など	計画	45	1. 本科・専門5科目、専攻科・専門1科目、実験3科目、オムニバス2科目を担当する。 2. 授業前に授業資料を提示し(空欄を含む)、事前ノート作成による予習を推奨すると共に、小テスト・課題による復習の環境も提供する。 3. 卒論生と専攻科生の研究指導を行う。
		実績		
研究	自主研究 外部資金研究(科研費ほか) 共同研究 技術相談 論文・解説・著書学会等発表 特許など	計画	5	1. 昨年度までの科研等のプロジェクト研究を引き継ぎ、「機能性発光材料」の研究を卒論生及び専攻科生と共に遂行する。科研費等の外部資金にも応募する。 2. 昨年度までの研究業績を学会発表および論文投稿する。
		実績		
学生生活指導	学級担任 学生相談 課外活動指導 コンテスト指導 など	計画	5	1. 学科長として学科学生の生活指導を統括する。 2. サッカー部顧問として、クラブ活動のサポートおよび引率業務を行う。 3. ハラスメント総括相談員として学生からの相談体制を構築する。
		実績		
校務 / 管理運営	主事, センター長, 室長 学科長, 委員長 学級担任 主事補, センター委員, 室員 委員会委員 など	計画	40	1. 学科長として学科運営を指導すると共に、校内の管理運営に貢献する。 2. ハラスメント総括相談員の公務を行う。
		実績		
社会活動	学会での活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流活動 学外団体活動 など	計画	5	1. 日本化学会九州支部の幹事(高専代表幹事)として、化学振興と高専関連事業実施に貢献する。 2. 九州高専サッカー連盟の理事(審判副委員長)として、競技振興と高専関連大会実施に努める。 3. 機能有機材料関連の講演会を共同開催する。 4. 専門分野の学術論文の査読審査を行う(依頼ベース)。 5. 放送大学の協力教員の任務を担う(予定)。
		実績		

教員業務内容報告書

報告者氏名	石井努			所属	生化	職位	教授	報告年度	令和5年度
分野	計画			実績			記載事項例		
	エフォート	内容		エフォート	内容(計画からの変更点)				
教育	45	担当:酸塩基化学、有機金属化学、機器分析、工業物理化学1、機能有機材料(新規担当)、有機反応化学、生物応用化学入門、科学技術史、分析化学実験、有機化学実験、応用化学実験、卒業研究論文、専攻科研究基礎、専攻科研究論文 従来の授業準備と実施 新規担当(機能有機材料)の授業準備 卒業研究・専攻科研究の指導		45	授業:計画通り実施 新規担当科目:ppt授業資料の作成およびグローバル化を志向した英語論文の検索・紹介を実施 本科5年生・4名、専攻科・1名の研究指導:卒業研究論文では3名が優秀論文賞を受賞(全体3名中)、専攻科生と5年生・2名は学会発表を実施		担当科目名・単位数 卒業研究・専攻科研究指導学生数 教育方法改善内容		
研究	5	論文投稿: 学会発表: 外部資金(科研基盤C・3年目)		5	論文投稿:0件 学会発表:6件(招待講演1件、学生発表4件を含む) 外部資金:3件の申請 物質・デバイス領域共同研究拠点:共同研究賞を受賞、ニューズレターに当研究室が特集		論文 著書 総説・解説 学会等発表 特許 共同研究 技術相談 科研費 外部資金		
学生生活指導	5	サッカー部顧問:九州高専連盟理事(審判副委員長)、九州高専体育大会サッカー競技の担当 学科学生の学修支援:例・TA・RAによる取組		5	サッカー部顧問:全国大会・九州大会優勝、久留米市スポーツ奨励賞受賞 九州高専連盟理事(審判副委員長):例年通りの活動 九州高専体育大会サッカー競技の運営:実施に加え、直前の会場変更への対応 学科学生の学修支援:TA・RAや出前授業の継続・改善を実施、今年度は3年次の進級率に反映		クラブ顧問 コンテスト指導		
校務・管理運営	40	学科長: 教員対応:准教授公募、科目担当の引継ぎと見直し、研究・教育業績の積上げ、校務ノウハウ引継ぎ、等 学生対応:低学年の出前授業、学修支援、等 ハラスメント総括相談員:詳細割愛		40	学科長:計画通りに対応、大型機器導入において3点の実績、新規教員の確保 ハラスメント総括相談員:詳細割愛		主事 その他の長 学科長 委員長 部会長 主事補等 担任 委員会委員 部会員		
社会活動	5	公開講座:化学への招待、等 学会活動:日本化学会(幹事)、有機合成化学協会(学会運営補助)、光化学協会(学会運営補助) 論文査読:		5	公開講座:計画通りに実施、出前公開講座にも対応 学会活動:予定に従い対応、高専関連の補助も継続・確保 論文査読:実績多数 放送大学の協力教員:年度途中での依頼に対し任務を担った		所属学会名 学会活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流 学外団体活動		

(注) エフォートは各職務にかける(出力×時間)の割合(%)で表示、最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

(注) フォントのサイズは10pt~12ptとし、記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。